

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成24年5月24日(2012.5.24)

【公開番号】特開2011-167535(P2011-167535A)

【公開日】平成23年9月1日(2011.9.1)

【年通号数】公開・登録公報2011-035

【出願番号】特願2011-97836(P2011-97836)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成24年4月2日(2012.4.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技の制御を行う遊技制御手段と、  
 遊技盤に形成された遊技領域内を流下する遊技球が入賞可能な複数の入賞装置と、  
 前記入賞装置に入賞した遊技球を検出する入賞検出手段と、  
前記入賞装置に遊技球が入賞したことに基づいて賞球を遊技者に払い出す払出装置と、  
判定条件の成立に基づいて当否の判定を行う当否判定手段と、  
前記遊技盤に配置され、前記当否判定手段の判定結果を報知する判定図柄を表示可能な  
表示手段と、

前記表示手段は別に、少なくとも前記当否判定手段の判定結果を報知する際に判定中の  
演出を行う報知手段と、

を備えた遊技機において、

前記遊技制御手段は、

遊技機の異常を検出する異常検出手段と、

前記異常検出手段の異常検出結果に基づいて複数段階にランク分けするランク付与手段と、

前記ランク付与手段によってランク分けされたランクに基づいて報知コマンドを設定する報知設定手段と、

で少なくとも構成され、

前記報知手段は、前記報知設定手段によって設定された報知コマンドに基づいた報知を  
兼ね、

前記報知設定手段は、前記ランク付与手段によってランク分けされるランクが予め設定  
されたランク以上の場合に特別異常報知を行う特別異常報知コマンドを設定し、

前記報知手段は前記特別異常報知コマンドに基づいて前記特別異常報知を行い、

前記遊技制御手段は、前記報知設定手段によって前記特別異常報知コマンドが設定され  
ることによって、賞球の払い出しを停止する払出停止処理を実行し、

前記払出停止処理の実行後も前記判定条件の成立に基づいて前記当否判定手段による当  
否判定結果を前記表示手段に表示して遊技を続行すると共に、前記報知手段は前記判定中  
の演出を実行しないで前記特別異常報知を優先して実行することを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記異常報知コマンドには、前記ランク付与手段によってランク分けされたランクが予め設定されたランク未満である場合に設定される通常異常報知コマンドと、前記ランク分けされたランクが予め設定されたランク以上の場合に設定される特別異常報知コマンドとがあり、

前記通常異常報知コマンドは前記報知手段により通常異常報知を行うコマンドであり、

前記特別異常報知コマンドは前記報知手段により前記通常異常報知とは異なる特別異常報知を行うコマンドであることを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記遊技制御手段は、前記ランク付与手段によって前記特別異常報知コマンドが設定されるランクにランク分けされることに基づいて前記払出停止処理が実行されると、遊技機の電源が再投入するまで前記賞球の払い出しを再開しないことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記遊技制御手段は、前記ランク付与手段によって前記特別異常報知コマンドが設定されるランクにランク分けされることに基づいて前記払出停止処理が実行されると、払い出されていない賞球数を前記表示手段に表示することを特徴とする請求項 1 から 3 の何れか一項に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項 1 の発明は、遊技の制御を行う遊技制御手段と、遊技盤に形成された遊技領域内を流下する遊技球が入賞可能な複数の入賞装置と、前記入賞装置に入賞した遊技球を検出する入賞検出手段と、前記入賞装置に遊技球が入賞したことに基づいて賞球を遊技者に払い出す払出装置と、判定条件の成立に基づいて当否の判定を行う当否判定手段と、前記遊技盤に配置され、前記当否判定手段の判定結果を報知する判定図柄を表示可能な表示手段と、前記表示手段は別に、少なくとも前記当否判定手段の判定結果を報知する際に判定中の演出を行う報知手段と、を備えた遊技機において、前記遊技制御手段は、遊技機の異常を検出する異常検出手段と、前記異常検出手段の異常検出結果に基づいて複数段階にランク分けするランク付与手段と、前記ランク付与手段によってランク分けされたランクに基づいて報知コマンドを設定する報知設定手段と、で少なくとも構成され、前記報知手段は、前記報知設定手段によって設定された報知コマンドに基づいた報知を兼ね、前記報知設定手段は、前記ランク付与手段によってランク分けされるランクが予め設定されたランク以上の場合に特別異常報知を行う特別異常報知コマンドを設定し、前記報知手段は前記特別異常報知コマンドに基づいて前記特別異常報知を行い、前記遊技制御手段は、前記報知設定手段によって前記特別異常報知コマンドが設定されることによって、賞球の払い出しを停止する払出停止処理を実行し、前記払出停止処理の実行後も前記判定条件の成立に基づいて前記当否判定手段による当否判定結果を前記表示手段に表示して遊技を続行すると共に、前記報知手段は前記判定中の演出を実行しないで前記特別異常報知を優先して実行することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 5】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0012  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 6】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0013  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 7】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0014  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 8】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0015  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 9】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0016  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 10】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0017  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正 11】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0018  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0018】

請求項 3 の発明は、請求項 1 または 2 において、前記遊技制御手段は、前記ランク付与手段によって前記特別異常報知コマンドが設定されるランクにランク分けされることに基づいて前記払出停止処理が実行されると、遊技機の電源が再投入するまで前記賞球の払い出しを再開しないことを特徴とする。

【手続補正 12】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0019  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0019】

請求項 4 の発明は、請求項 1 から 3 の何れか一項において、前記遊技制御手段は、前記ランク付与手段によって前記特別異常報知コマンドが設定されるランクにランク分けされ

ることに基づいて前記払出停止処理が実行されると、払い出されていない賞球数を前記表示手段に表示することを特徴とする。

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 9

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 2】

請求項3の発明によれば、遊技機の稼働状態から不正行為が行われている可能性が極めて高いと判断される状況において、確認者が遊技機の状態を確認して遊技機の電源を再投入するまで賞球の払い出しを行わないため、不正行為が行われていないと確認された状況でのみ払い出しを再開することができ、遊技店が不利益を被るおそれを抑制することが可能となる。

【手続補正 2 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 3】

請求項4の発明によれば、払出停止処理が実行されると、払い出されていない賞球数を表示手段に表示する構成を有するため、賞球払出が行われないことに対する遊技者の不安を抑制することが可能となる。

【手続補正 2 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 5

【補正方法】削除

【補正の内容】